

238-P 陶管カッタ



⚠ 警告!

本機器を使用する前に取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書の内容を理解せずに使用すると、感電や火災、大けがを負う場合があります。

目次

安全に関する注意.....	ii
一般的な安全上の注意事項.....	1
作業場の安全.....	1
作業者の安全に関する注意事項.....	1
本機の使用とお手入れ.....	1
保守点検作業.....	1
本機の安全に関する注意事項.....	1
製品概要および仕様.....	2
概要.....	2
仕様.....	2
操作前の点検／メンテナンス.....	3
本機のセットアップと操作.....	4
切断作業に関するヒント.....	6
保証や修理について.....	ウラ表紙

*説明書原本 - 英語

安全に関する注意

取扱説明書と製品本体には、安全に関する重要な内容を伝えるために記号や表示が使用されています。ここでは、これらの記号や表示をよりよく理解してもらうための説明を記載しています。



この記号は、安全に関する警告記号です。けがを負う危険があることを警告しています。けがや死亡につながる危険を避けるため、この記号が記載された文章に従ってください。

▲ 危険 この表示は、危険を示します。記載内容を無視すると、死亡または大けがを負うことがあります。

▲ 警告 この表示は、警告を示します。記載内容を無視すると、死亡または大けがを負う可能性があります。

▲ 注意 この表示は、注意を示します。記載内容を無視すると、軽度または中度のけがを負う可能性があります。

注意! この表示は、本機器の使用に関する内容を示します。



この記号は、「本機器を使用する前に取扱説明書をよく読んでください」ということを意味します。取扱説明書には安全と本機器の正確な運転に関する重要な内容が記載されています。



この記号は、本機器の取扱い中や使用中にサイドシールドの付いた安全メガネまたは安全ゴーグルを必ず着用しなければならないことを示します。



この記号は、手指または体の他の部分が押しつぶされる危険があることを示しています。

一般的な安全上の注意事項

⚠ 警告

全ての警告と指示をお読みいただき、ご理解ください。全ての警告および指示に従わないと、感電事故や火災の発生、また重傷を負うことがあります。

以下の指示は必ず順守してください！

作業場の安全

- 作業場所は常に清潔で明るくしてください。物が散乱していたり、暗い場所での作業は事故につながります。
- 可燃性の液体やガス、粉塵などで爆発の危険がある環境で本機を使用しないでください。本機の使用で火花が発生して、粉塵やガスに引火する場合があります。
- 本機の操作中は、子供や部外者を近寄らせないでください。操作から注意がそれると本機が制御できなくなるおそれがあります。
- 床は乾燥した状態に保ち、油など滑りやすいものが付着しないよう注意してください。滑りやすい床は事故につながります。

作業者の安全に関する注意事項

- 常に作業に集中し、常識的な判断力をもって本機を操作してください。疲労していたり、薬物、アルコールや医薬品の影響を受けた状態で本機を操作しないでください。操作中に注意力が落ちると、重傷を負う原因につながります。
- 保護具を使用しながら本機を操作してください。目は常に保護してください。防塵マスク、安全靴、ヘルメット、耳栓など、保護具の使用によって、けがをする危険を軽減できます。
- 腕などを伸ばし過ぎたり、姿勢を崩して本機を操作しないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスのとれた姿勢で操作してください。足元が安定した状態で、バランスのよい姿勢で操作すると、予期しない状況においても本機をうまく制御することができます。

本機の使用とお手入れ

- 本機に無理な力をかけないでください。必ず用途に合ったツールを使用してください。用途に合ったツールを正しく使用すると、作業が安全に、またスムーズに行えます。
- 使用していない本機は子供の手の届かないところに保管し、本機の取扱いに不慣れな人またはこの説明書を理解していない人に操作をさせないでください。取り扱い方法を知らずに本機を操作すると危険です。
- ツールの保守点検を実施してください。可動部のずれや固着がないか、部品が破損していないか、その他本機の動作に影響をおよぼす可能性のある異常がないか確認してください。破損している場合は、本機の修理が完了してからご使用ください。ほとんどの事故は、ツールのメンテナンスが不十分なために発生します。
- 取っ手部分は乾燥した状態に保ち、油分が付かないようにしてください。そうすることで本機をしっかりと操作することができます。

保守点検作業

- 本機器の保守点検は適格者が行い、部品は必ず同一部品で交換してください。適格者が保守点検を行うことで、機器の安全性を維持することができます。

本機の安全に関する注意事項

⚠ 警告

このセクションには、本機に固有の重要な安全情報が記載されています。

重傷の危険性を減らすために、238-P 陶管カッタをお使いいただく前に、この注意事項をよくお読みください。

以下の指示は必ず順守してください！

- 切断作業中に作業場所に他の人を近づけないでください。パイプに近寄らないでください。切断作業により、パイプの破

片がかなりの勢いで飛び散る可能性があります。これにより、打傷や目の損傷、その他の重傷を招く可能性があります。

- **必ず安全メガネを着用してください。**目に損傷を負う危険を軽減します。
- **本機の推奨切断能力を超えて使用しないでください。**パイプの径が大きすぎたり、パイプの種類を間違えると、陶管カッタに負荷がかかりすぎ、本機の故障や重傷につながる恐れがあります。汚水管を切断するためのチェーンは、公称寸法の8インチ（200mm）より長く延ばさないでください。
- **陶管カッタを動作させるのに、延長ハンドルは使用しないでください。**延長ハンドル（延長棒）は滑りやすいため、重傷を負う可能性があります。延長ハンドルは、陶管カッタに負荷をかけすぎると恐れがあるため、本機の故障や重傷を招く可能性があります。
- **切断作業中は、切断チェーンに手や指を近付けないでください。**パイプとカッタまたはその他の物の間に挟まったり、手や指が押しつぶされたり、骨が折れたり、切断されたりする恐れがあります。
- **この操作マニュアル、インパクトドライバーの操作マニュアル、および使用中の全ての装置の説明書と警告をお読みいただき、内容を理解した上で本機を動作させてください。**すべての警告および指示にしたがわないと、重傷を招く恐れがあります。

本説明書には、必要に応じて、別冊子としてEC適合宣言書（890-011-320.10）が含まれていることがあります。

製品概要および仕様

概要

リジッド 238-P 陶管カッタは、様々な鋳鉄汚水管、コンクリート管、および陶管の切断に使用されています。狭いスペースでの使用に便利なコンパクトな装置です。238-P 陶管カッタは、バッテリー式、AC電源式、もしくはニューマチック式のインパクトドライバーを使用頂くか、最大4"（100mm）の公称パイプに対し、付属の1/2"ラチェットドライバーまたは1 1/8"レンチを使って手動でご使

用下さい。本機は、カッタ・ホイール付のチェーンでパイプを締めつけてパイプを切断します。本機を使用して、最大8"（200mm）の公称直径のSV肉厚およびハブなし鋳鉄汚水管を切断できます。送りネジには、手動で手早く調整を行うための手動ノブが備わっています。独自のフック機構により、簡単にチェーンを接続することができます。

仕様

能力

SV肉厚鋳鉄 汚水管.....	最大8"（200mm） 公称
ハブなし鋳鉄 汚水管.....	最大8"（200mm） 公称
陶管.....	最大8"（200mm） 公称
コンクリート管 （鉄筋入りは不可）4"~6" （100mm~150mm） 公称
重量.....	13.5ポンド（6.1 kg） （ハンドルまたはラチェット を含まない）
サイズ.....	11.5"（292mm）長 （完全に伸ばした状態。 ハンドル、ラチェット、 またはチェーンを含ま ない）

カッタ・
ホイール径.....1.25"（32mm）

チェーンピン長さ....2"（51mm）

インパクトドライバーは、定格トルクが200フィートポンド（271N・m）以上のものをご使用ください。これより低い定格のインパクトドライバーを使用した場合、パイプの径および種類によっては切断できない場合があります。400フィートポンド（542N・m）を超えるトルク定格のインパクトドライバーを使用しないでください。カッタが破損する恐れがあります。



図1 - 238-P 陶管カッタ

操作前の点検／メンテナンス

⚠ 警告

本機を使用する前に必ず点検を行ってください。打撃または衝撃およびその他の原因による大げなの危険を軽減し、陶管カッタの破損を防止するため、点検の結果、問題があれば適切な措置を講じてください。

1. 陶管カッタの汚れ、油分、グリース、および切削くず等を拭き取ってください。必要に応じて、ワイヤーブラシでチェーンの汚れを落としてください。こうすることで、本機の点検を行いやすくなり、持っている手から本機がすべり落ちるのを防ぐことができます。
2. 以下の点に注意して、本機の点検を行ってください。
 - 装置が正しく組み立てられていること、および装置に不備がないか。
 - 部品の破損、割れ、欠落、曲がり、もしくは固着がないか。
 - 過度の腐食および摩耗がないか。
 - ネジ、チェーン、連結部が円滑かつ自由に動くこと。
 - 警告ラベルが貼付されていることおよび表示内容が読めること。(図1参照)
3. チェーンを点検し過負荷またはその他の損傷の兆候がないか確認してください。チェーンのプレート間に大

きな隙間がないことを確認する必要があります。チェーンの連結部分に大きな隙間や破損等が見つかった場合は、チェーンを交換してください。カッタ・ホイールに摩耗や損傷がないか確認してください。摩耗や損傷があるカッタ・ホイールを使用すると、切断するためにより大きな力が必要になり、切断品質が落ちる可能性があります。

4. 使用するインパクトドライバーおよびその他の装置を説明書に従って点検してください。
5. 異常が見つかった場合は、異常が是正されるまで本機を使用しないでください。
6. 必要に応じて、回転軸とチェーンに軽潤滑油を差してください。余分な油は拭き取ってください。
7. カッタは1年に1回（頻繁に使用する場合は、回数を増やして）、手動フランジを時計回りに回して分解してください（左ネジ）。C形ワッシャーと送りネジをカッタから取り外します。送りネジとワッシャーの汚れを拭き取って、組み立て直す際に相対運動点に高品質な極圧グリース（EP表示）を塗ってください。図2を参照。

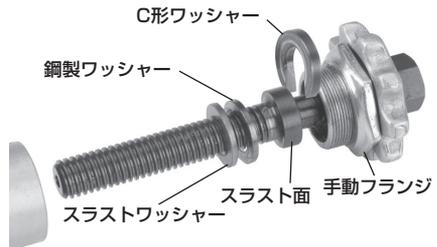


図2 - ユニットの組み立て：C形ワッシャーと溝付鋼製ワッシャーをスラスト面に向かって正しい位置にセットする

本機のセットアップと操作

⚠ 警告



打撃または衝撃などによるけがの危険を軽減し、装置の損傷を防ぐため、セットアップおよび操作に関する指示にしたがって使用してください。

切断作業中に作業場所に他の人を近付けないでください。パイプに近寄らないでください。切断作業により、パイプの破片がかなりの勢いで飛び散る可能性があります。これにより、打傷や目の損傷、その他の重傷を招く可能性があります。

ほこりやその他の異物から目を守るため、必ず保護メガネやゴーグルを着用してください。

切断作業中は、切断チェーンに手や指を近付けないでください。パイプとカッタまたはその他の物の間に挟まって、手や指が押しつぶされたり、骨が折れたり、切断されたりする恐れがあります。

1. 作業場の確認

- 十分明るさがあること。
- 作業するにあたり、作業場が整理整頓されており、平坦でかつ安定していること。

2. 切断するパイプを点検してください。パイプのサイズおよび種類を確認します。既設パイプを切断する場合、パイプの内容物を確認してください。

3. 使用目的に合う陶管カッタを決定します。仕様セクションの情報を確認してください。その他の管カッタについては、www.RIDGID.comの製品カタログでご確認いただけます。

4. 陶管カッタが正しく検査されていることを確かめます。

5. パイプを切断する準備を行ってください。

• パイプ内の液体を抜くのに必要な手順、および漏出した場合の対処を行うのに必要な手順を踏んでください。

• パイプの泥やさびを取り除いてください。さびがひどい場合、または泥で汚れている場合、切断品質の低下やカッタ・ホイールの損傷につながる恐れがあります。

• パイプの周りにチェーンを巻き付けるスペースがあることを確かめてください。パイプ周りに約1½" (38mm) の空間が必要です。固定されていないパイプを切断する場合、カッタ・ホイールがコンクリート等の硬い地面に当たって損傷を受けるのを防ぐために、パイプを背の低いスタンドや木の台に載せて床から離すか、合板のような比較的やわらかい板の上で作業してください。

• 短いパイプを切断する場合はできれば、切断時にパイプが投げ出されないように、パイプを動かさないようにしてください。これには、小さめのパイプか木材を、切断するパイプの真ん中あたりにセットするなどの方法で、対処できます。

6. 便宜上、側面のハンドルはカッタのどちら側にも取り付けられ、必要に応じて取り外せるようになっていきます。

7. 陶管カッタの調整ノブをつかみ、反時計回りに回して、完全に伸ばしてください (図3)。



図3 - カッタを完全に伸ばした状態、チェーンの固定

8. カッタ・ホイールがご希望の切断位置にセットされるよう、陶管カッタをパイプに載せてください。両方のフックが、開いている方を上にしてパイプの上にセットされていることを確かめてください。
9. チェーンをパイプにぴったりと巻き付け、一番近いチェーンピンをフックに引っかけます。必ず本機が完全に伸び、チェーンがパイプにぴったりと巻き付いているのを確認してから、チェーンをフックに引っかけてください。これを怠ると、誤ったピンを引っかけ、パイプを完全に切断することができなくなる恐れがあります。また、カッタがパイプに引っかかって動かなくなる可能性もあります。カッタが引っかかって動かなくなってしまった場合は、本機を完全に伸ばし、チェーンを次のよりきついチェーンピンの方に動かして、指示どおりに作業を続けてください。
10. カッタ・ホイールがパイプに直角になっていることおよび目的の位置にセットされていることを確かめてください。調整ノブを時計回りに回し、パイプに巻き付けたチェーンをしっかりと締め付けてください。
11. カッタの運転を開始する場所を選択してください。パイプが切断された時に、破片が飛び散る恐れがありますので、ご注意ください。パイプがぶつかる恐れのある障害物などがないことを確かめてください。パイプが切断された時に陶管カッタとパイプが落下したり、転倒したりする可能性があるのでご注意ください。
12. 手動で操作する場合、(4" (100mm) 以下のパイプについては) ラチェットがスクエアドライブにしっかりとロックされる必要があります。別のレンチを使うと、所定の位置にロックされず、運転中に緩む可能性があります。必要な場合は、カッタ本体を固定するために、自在レンチをお使いいただけます。カッタを固定するのに、パイプレンチを使わないでください。レンチの歯またはカッタを傷つける恐れがあります。手動でラチェット操作を行っている間、カッタを固定するのにハンドルを使用しないでください。ハンドルを傷つける恐れがあります。
13. インパクトドライバーを使用する場合は、スクエアドライブを送りネジの先端に差し込むか、または、1¹/₈"インパクトソケットを送りネジの頭にかぶせてください。
14. 安定した姿勢を取り、装置をしっかりとつかんで、送りネジを締めてください。パイプが切断されるまで締め付け続けます。



図5 - 陶管カッタの操作 - インパクトドライバーを使用する



図4 - 陶管カッタの操作 - 手動操作

切断作業に関するヒント

所定のサイズのパイプに合うピンが決まったら、そのピンに印を付けておくと、同じサイズのパイプを連続切断する場合に改めて設定する時間を節約できます。

よりきれいに切断するためには、パイプが切断されるまで、チェーンを締め付ける代わりに、パイプに跡を付ける程度にチェーンを締め付けてください。次に、チェーンを緩め、わずかにパイプまたは本機を回転させて、さらに跡を付けます。この動作を数回行って跡を付け、パイプを一周したところで、チェーンを締め付けてパイプを切断してください。

陶管カッタを持ち運ぶときは、チェーンを引きずらないでください。チェーンを引きずると、カッタ・ホイールが摩耗したり、傷ついたりして、切断するためにより大きな力が必要になり、切断品質が落ちる可能性があります。

腐食したパイプは切断中につぶれる可能性があります。腐食しているパイプを切断しないようにご注意ください。

短くカットされたパイプ（パイプの径より短い）を切断すると、パイプの切り口が不均一になったり、パイプが割れたり、折れたりする可能性があります。

点検と修理

▲ 警告

点検または修理を正しく行わないと、本機を安全に作動させることができなくなることがあります。

点検および修理は、リジッドの正規修理代行店が行います。

日本エマソン株式会社 リッジ事業部 お客様相談窓口

〒105-0022
東京都港区海岸1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワービル7F
TEL：(03)5403-8560
FAX：(03)5403-8569
(祝祭日を除く月曜日から金曜日
9:00～17:00)
メールアドレス：Ridgid@emerson.co.jp
ホームページ：<http://www.ridgid.jp>

修理品に関しましては、下記までご連絡下さい。

正規修理代行店 コア・エレクトロニックシステム リジッド製品修理センター

〒224-0026
神奈川県横浜市都筑区南山田町4105
株式会社 コア・エレクトロニックシステム
リジッド製品修理センター
TEL：045-534-8243
FAX：045-624-9123
(祝祭日を除く月曜日から金曜日9:00～
17:00)

保証や修理について

保証期間：

保証は製品のご購入日から1年間とします。また、ご購入時の領収書は大切に保存してください。保証修理時に必要となります。

保証の範囲：

本機器の製造上および、材料に欠陥があった場合のみ保証の対象となります。

保証の適用対象外の事項について：

誤用、濫用、通常の摩耗や亀裂による故障は、本保証の対象に含まれません。また、消耗品等の自然消耗、劣化などの理由による交換や修理は対象外となります。弊社は、本機器の故障、又はその使用によって生じた、付随的損害または間接的損害に対する一切の責任を負いません。各種アクセサリ類は消耗品等に含まれますので、交換や修理は保証の対象外となります。

保証対象：

製造または材料の欠陥以外の理由で本機器が使用不能になったときには、保証の適用は終了します。

保証や修理を受けるときには：

本機器をご購入いただいた販売店にお持込ください。または、運賃前払いにて弊社商品センターに発送してください。また、修理内容にかかわらず返送時の運賃はお客様のご負担となります。

保証や修理方法：

保証や修理対象の製品は、弊社の選択により、修理または交換して返送いたします。保証対象外の製品については、有償にて修理をいたします。

保証の適用について：

弊社に代わって、販売店、代理店などが本保証を変更したり、別の保証を提供したりすることはありません。

※本書記載内容については、製品の仕様変更などにより、予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



www.ridgid.jp

www.emerson.co.jp